



第9回EAJジェンダーシンポジウム

～地元(ふるさと)を起点とした理工系女性の多様な道～

【趣旨】

イノベーションの創出には多様性が不可欠であり、とりわけジェンダーの視点は欠かすことができません。しかしながら、その中核を担う工学分野においては、依然としてジェンダーに関する課題が山積しています。前回のシンポジウムでは「理工系女子学生はなぜ大学院に進学しないのか？」に焦点を当て、女子学生をサポートする環境づくりの大切さを議論しました。その中で見てきたのは、「身近に相談できる先輩がいない」「地元でどんな仕事ができるかイメージしにくい」といった切実な不安の声でした。

これを受け、今回は「地元（ふるさと）を起点とした理工系女性の多様な道」をテーマに開催します。「大好きな地元で技術を活かす人」「一度外の世界を知り、新しい視点を持って戻ってきた人」「遠く離れた場所からテクノロジーで故郷を支える人」など、専門性を強みとして自分らしく活躍するロールモデルの姿を紹介します。理工系女性の学びは、どこにいても世界や地元とつながる力になります。「数学や理科が好き。でも、その先に何があるのだろうか？」と未来を模索する女子学生の皆さんに、多様なキャリアの可能性を知ってもらい、一歩踏み出すワクワクを感じてもらえる場にしたいと考えています。また同時に、ジェンダーの課題に関する現状や取り組みへの理解を深めることで、女子学生の皆さんはもちろん、指導にあたる先生方や保護者の皆様にも、「理工系は女性が安心して活躍できる分野である」という確信を持っていただける場となることを目指します。

【日 時】	2026年3月19日(木) 13:30～16:15 [13:00開場]
【開催場所】	東北大学エスパス片平（宮城県仙台市青葉区片平二丁目1-1）
【開催方法】	ハイブリット形式（対面/Zoom）
【参加費】	シンポジウム：無料
【申込締切】	2026年3月12日(木) 17:00
	意見交換会（懇親会）：1000円

【プログラム】 敬称略

司会：鹿野豊（EAJジェンダー委員会/筑波大学 教授）

13:30 [開会挨拶(録画)]

安西祐一郎（日本工学アカデミー会長）

13:35 [趣旨説明]

田中真美（EAJジェンダー委員会副委員長
/東北大学 教授）

<第一部>

13:40 [基調講演]

理工系進学ジェンダーギャップ：原因と対策について

矢ヶ崎将之（東北大学 経済学研究科 講師）

14:30 [講演]

理工系女性活躍にむけて

- EAJジェンダー委員会の取り組み-

行木陽子（EAJ ジェンダー委員会委員長
/中央大学 特任教授）

15:00 休憩（10分）

<第二部>

15:10 パネル討論

「地元(ふるさと)を起点とした 理工系女性の多様な道」

河北杏樹（マイクロメモリジャパン株式会社）

熊谷直子（東京エレクトロン宮城株式会社）

中里理恵（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社）

加藤牧子（ファイトケミカルプロダクツ株式会社）

ファシリテーター：太田香（東北大学教授）

16:10 [閉会挨拶]

行木陽子（EAJ ジェンダー委員会委員長
/中央大学 特任教授）

16:15 [閉場]

16:30 意見交換会（懇親会）

18:30 終了予定

【参加申込】 どなたでもご参加いただけます（登録要）

お申込み： <https://business.form-mailer.jp/fms/194cac98166882>

※参加登録者へは後日オンデマンド配信を予定。

※Zoom参加者には会議URLを参加登録後にメールでお知らせします。



<お問い合わせ> 公益社団法人 日本工学アカデミー ジェンダー委員会 Mail : gender_sympo(at)ej.or.jp Tel : 03-6811-0586

主催：日本工学アカデミー ジェンダー委員会・日本工学アカデミー東北支部

共催：東北大学DEI推進センター、東北大学工学系女性研究者育成支援推進室(ALiCE)、東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHE)（予定）

後援：お茶の水女子大学理学系女性学啓発研究所、日本女性技術者フォーラム、日本人間工学会、日本工学会（予定）

内閣府男女共同参画局、文部科学省（予定）、経済産業省（予定）、科学技術振興機構（JST）、

日本工学教育会（検討予定）、男女参画学協会連絡会（検討予定）、Micron Technology, Inc.、東京エレクトロン株式会社、UPWARDS 他